

## 投稿規定

- (1) 論文の内容は、日本を含む東アジアの領域を中心としつつ、他地域も含めたグローバルな文学・歴史・思想・民俗・宗教・芸術・政治・経済・法律・社会等に関するものとし、ます。
- (2) 投稿資格は、本学の専任及び非常勤教員・特命教授・名誉教授・客員教授・研究員・客員研究員・助手（非常勤）、研究所の企画・活動に参加した研究者、並びに編集委員会が認めた者とし、ます。
- (3) 原稿の枚数は、四〇〇字詰め原稿用紙に換算して六〇枚前後とし、ます。縦書き、横書きは問いません。（掲載が決定してから二週間以内に印刷用原稿を電子媒体で提出することを原則とし、ます。）
- (4) 投稿された原稿は、編集委員会が最終的な採否の決定をし、ます。
- (5) 執筆者校正は初校のみとし、ます。なお、校正段階での大幅な修正はできませんので、完全原稿で提出してください。（大幅な修正があった場合は、応分の費用を負担願うこととなり、ます。）
- (6) 各執筆者に抜き刷りを五〇部及び本誌五部を贈呈し、ます。なお、抜き刷り増刷は、実費でいたしますので、事前に申し込みください。
- (7) 本誌に発表されたものを転載する場合は、予め運営委員会にご一報の上、出版物を一部東アジア学術総合研究所にご寄贈下さい。（『年次別論文集』への掲載を除く。）
- (8) 本誌に掲載された全ての論文等については、原稿を電子化媒体によって複製、公開し、公衆に送信することができます。
- (9) 執筆要領の詳細については、研究所までお問合せください。

## 編集後記

『東アジア学術総合研究所集刊』第53集をお届けいたします。

本号を故石川忠久先生の追悼記念号にすることの経緯は、文中に記した通りです。ただ、すべてが記念特集ということではなく、本学の研究所としての成果報告であることは、ご一読いただくことで伝わるものと思っております。

本年度も、コロナ禍の中、陽明学研究センター・日本漢学研究所センターを中心に様々な試みを行いました。それらの成果は別途公開されますが、この『集刊』もまた、二松学舎の学びと研究所の意義をそれぞれに追求した内容になっているものと感じております。

混迷を深める学内外の情勢の中で、学問の学問たる所以を守っていくことが、今後も研究所の使命として求められていくものと信じます。

（牧角悦子）